



あ や め



文責：生徒指導主事 川崎幸司

新人大会に向けて！激励会がありました

10月6日（金）の放課後、中巨摩新人体育大会に向けての激励会が開かれました。3年生からバトンを引き継ぎ、2年生中心の部活動体制になって初めて迎える公式大会ということになります。朝練・午後練、週末の練習や練習試合と、新人大会を目標に取り組んできました。激励会では、そんな各部の意気込みが十分感じられる決意表明ができていたのではないのでしょうか。生徒会本部を中心とした応援と、全校生徒の魂のこもった応援歌が、体育館中に響き渡りました。これらの励ましは、選手の心に十二分に届いたのではないかと思います。

上田校長先生は、「エースナンバーをもらったにもかかわらず、完全燃焼できなかった在りし日の思い出とともに、『敵は自分の心の中にいる』ことを示唆してくれました。そして『ゴールは夏の総体⇒課題を見つめられる新人大会にしてください。』と選手に励ましの言葉を贈られました。

河野生徒会長は「自分たちは沢山の方の応援をもらっています。櫛中生としての自覚を胸に、新人大会で新チームが良いスタートが切れるように」と激励しました。

「チーム櫛形」の想いをひとつに、新チームの活躍が大いに期待できる激励会となりました。

また、平日にもかかわらず、多くの保護者の方々の参観をいただき、生徒たちの励みになったことと思います。この場を借りて、感謝申し上げます。今後も、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

10/6金：櫛形中激励会より



中巨摩新人体育大会、櫛中生大活躍！！

スポーツの秋、運動するには良好な気候の中で10月の12日（木）、14日（土）の2日間にわたって中巨摩新人大会が開催されました。

激励会での応援を胸に、初めての公式戦で気持ちのこもった熱戦が繰り広げられました。どの部も最後まで必死に戦い、その姿に大きな感動を受けました。試合なので、どうしても勝ち負けはつくものですが、これまでの日々の部活動において、技術の向上や心の成長、勝利を目指して努力を重ねることが大切であり、それが部活動に取り組む最大の目的ではないかと思えます。

これから1・2年生は、部活動を通してさらに多くのことを学んでいくことになります。一緒に汗を流した仲間との絆、チームとして協力することの大切さ、陰で支えてくれたすべての人への感謝の気持ち、これらすべてを再確認してほしいと思います。勝ち進んだチームは、県大会を目指しての練習がさらに続きますが、是非頑張ってください。「櫛中プライド」を胸に、戦う櫛形中の選手の勇姿に期待しています。

< Aim High >

中巨摩新人体育大会 本校の活躍

野球部	Bパート	2位
ソフトボール部		2位
男子バスケット部		2位
女子バスケット部		2位
男子卓球部	団体	2位
女子ソフトテニス		
BCトーナメント		2位

※個人の記録は割愛しました。

☆3年生、進路を切り拓く！教達検がありました☆

10月3日（火）、3年生の教育課程到達度確認検査（通称『教達検』）が実施されました。進路の選択・決定の際に参考となる重要な資料となるテストです。自ら進路を切り拓くためにも、ここが頑張りどころでしょう。11月9日（木）には、2回目の教達検が控えています。結果に一喜一憂せず、自分の得意分野や弱点など客観的に分析し対策を立てられるようにしたいものです。

2つの教達検の間には中間テストもありました。日常の学習と受検勉強の同時進行で大変な思いをしていることでしょうか。だからこそ、計画的に学習を進められるようにしていくことが大切です。また、1、2年生にとっても、受検・進路選択は遠い未来の話ではありません。今学んでいることに真摯（しんし）に取り組み、その時その場で慌てることの無いように、日々の学習に取り組んでいきましょう。



10/12木&14土：中巨摩新人大会より

～ ほっこりするお話 ～

9月30日（土）は櫛形地区小学校の大運動会でした。その中で小笠原小学校運動会での櫛形中生のエピソードを伺ったので、紹介させていただきます。

無事に運動会が終了し、片付けを保護者の方を中心に行っていたときです。「私達も手伝わせてください。部活動などで慣れていきますので。」と、10人以上の生徒達が、PTAの方々に混じり、テントの片付けのお手伝いを始めました。その中学生達の安全面への配慮はもちろんのこと、その手際の良さや指示系統の正確さによって、あっという間に片付けが終わったそうです。

このお話を小笠原小からお礼の電話としていただきました。私達櫛形中の職員も大変嬉しく思い、またこのような生徒達に誇りも感じました。優しさや経験の積み重ねで、心も大きく成長してくれている生徒達に大きな拍手を贈りたいです。